

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜工業高等学校 学校運営協議会（第1回）
- 2 開催日時 令和8年5月29日（金） 13:30～15:40
- 3 開催場所 岐阜工業高等学校 記念館2階 大会議室
開催にあたり、委員による授業参観を実施した。

4 参加者

（委員）

山田 忠正	元笠松町町内会連合会長、町内会長
青井 敬子	育友会役員（副会長）（学校運営協議会 副会長）
岩田 愛	育友会役員（副会長）（学校運営協議会 会長）
奈良尾祐子	育友会役員（副会長）
亀井 孝宏	（株）光製作所
黒田 昌彦	（株）黒田製作所（欠席）
古田 流一	岐阜プラスチック工業（株）
渡邊 伸一	名古屋鉄道（株）笠松駅長

（学校側）

堀 秀樹	校長
関谷 博子	事務部長
山田 智徳	副校長
岩口 一平	教頭
三浦 徹大	教頭
関口 健	教務主任（全日制）
高橋 宏幸	教務主任（定時制）
由良 陽介	生徒指導主事
増井勇一郎	進路指導主事
山口 剛正	工業教育部長（代理）
小澤 智也	研究推進・広報部長

5 会議の概要（協議事項）

- (1) 令和8年度教育指導の重点及び学校経営計画（全日制・定時制）
- (2) 各分掌の重点・取組み（全日制・定時制）

意見1：地域において日常的に見守り活動を行う中で、本校生徒が気持ちよく挨拶を返す姿があり、生徒の問題行動も見られない。本校の継続した指導の成果である。

地域から要望をしたグラウンドの砂ぼこり等の課題については、学校側が芝生化やスプリンクラー設備の改修を進めたことにより環境が大きく改善され、地域として感謝して

いる。

意見 2 : 放課後の補習や資格試験対策、個別指導などにより、生徒が理解を深める機会が確保され、生徒が「分かるようになった」と実感できている。先生方のアドバイスにより技能競技や各種大会への参加機会が多く、運動部に所属していない生徒でも活躍の場があることが、自己肯定感の向上につながっている。加えて、企業や外部講師との連携による体験的な学びの機会が増加しており、これらの取組みは教員の負担増につながる側面もあるが、確実に生徒の成長や学校の魅力向上につながっており、その結果として口コミによる進学希望者の増加にも寄与している。実際に、卒業生（兄弟）の姿を見て下の子ども（弟妹）も本校への進学を希望するケースがあり、学校の信頼性の高さがうかがえる。

意見 3 : 授業に関しては、少人数指導やグループ分けによるきめ細かな対応が、生徒の理解を促進している。授業中の生徒の様子も落ち着いており、真面目に学習に取り組む姿が印象的であり、安心して学べる環境が整っている。

意見 4 : 本校は男子生徒のみでなく、女子生徒の進学先としても魅力があり、進路選択の一つとして積極的に勧めたい。

意見 5 : 近年は入学志願者が定員を割り込む学校が多い中、本校は中学生からの人気の高さがうかがえる。中学生段階での進路決定の難しさを踏まえると、本校の、1年次に幅広く学び、2・3年次で専門性を高めるカリキュラムのような段階的に選択できる仕組みは有効である。また、企業側の視点からは、SNS 利用に伴う情報漏洩リスクなどを踏まえたコンプライアンス教育や情報モラル教育の充実を求めたい。

意見 6 : 以前、工業高校の人気の落ちているというニュースを見たが、本校はものづくりに対する興味・関心が高い生徒が多く、実習中の生徒の目の輝きが素晴らしい。地域の宝であり、将来の産業を支える人材として大きな期待をもっている。

意見 7 : 駅構内での危険行動や歩きながらのスマートフォン使用は事故につながるので注意をお願いしたい。特に線路への立ち入りは重大事故につながる可能性があり、線路での落とし物があれば駅員に連絡すること、また、無人駅であっても連絡をしてほしい。このような公共の場における基本的な安全意識の徹底が必要である。
⇒電車マナーについては、生徒支援部と連携して生徒への指導に努める。

6 会議のまとめ

- ・第1回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校運営基本方針について承認が得られた。
- ・協議では、生徒の様子や本校の取組みについての意見、および今後の発展への期待が多く寄せられた。本会議をふまえ、目標の達成をめざして学校運営方針を実践するとともに、本校の魅力を中学生や地域に広く伝える取組みを強化したい。